

ジョイサポコラム No.12

整形外科って意外といいと思う

りんご整形クリニック 長谷川美穂



なぜ整形外科を選択したのかっていうことはよく聞かれます。診断、回復経過が画像ですぐわかることが一番でしょうか。国試の勉強で疲労した精神に、スカッと、ストレートにはいってきたんです。自分の性格に合っていると、いまも思います。

横浜市大の整形外科は女医の歴史が長く、大先輩からおられたので安心して入局できました。整形外科医師たちは男女問わずスポーツしていた割合が95%以上だと思います。私ももちろんしてました。成績はふるわなかったですけど。医局員たちは、さっぱりとして女性に優しく、さりげなく随所で気遣ってく

れました。プライベートでも様々活動があり、しょっちゅう誘ってくれ、大いに楽しみました。仕事後の飲み会、スポーツなどなんでも積極的に参加しました。プライベートからオフィシャルまでスキー&スノーボードにたびたび出かけました。やったことがなかったスノーボードもスパルタ方式で叩き込まれ、どこでも滑れるようになりました。全員男性の大部屋にひとり混じっているなんてこともよくありましたが、なんとなくうまく着替えもできました。

専門分野は教授から関節リウマチと筋電図を仰せつかりました。手術をしたかった私はちょっと残念に思っていました。関節リウマチは人工関節など大手術が多く下っ端の手におえず、筋電図は脊椎の手術で術中モニターを担当しなければならず、手術に参加できないからです。江戸っ子で怖い先生でしたけど、子供を持つようになって、やっと教授の親心がわかりました。出産育児で手術に入れないときも、仕事していける分野です。筋電図ができるおかげで、いまでもうわまち病院に呼んでもらえます。

整形外科の手術って、大変そうと思われる方が多いかもしれないですけど、そうでもありません。手術時間は2-3時間のものが多く、短時間決戦型です。骨折している足は不自然に動いてしまいなおかつ重いけど、足持ちは手術室の華奢な看護師さんたちもやっています。いろんな器具が楽に手術できるように発達しています。ただし、筋トレは必要です。自然に筋力がつくとも言えます。

手術は実は診療の一部に過ぎず、外来などは女性のほうがいいのではと思われます。変形性関節症、骨粗鬆症をはじめ、私の専門分野の関節リウマチなど、患者さんは圧倒的に女性が多いです。仕事、家事、子供や親のことなどを配慮しながら治療方針を決めるのが整形外科の特徴であり、そういった背景に思

いを馳せることについては、女性に利があります。男性の患者さんも、女の人のほうが相談しやすいと言って、いろいろ話してくれます。

開業して手術はしなくなりましたが、患者さんと苦楽を共有しながら、これからも楽しんで仕事したいと思います！